

山形美術館 平成 30 年度事業報告

概要

平成 30 年度の公益事業は、山形新聞・山形放送 8 大事業「パナソニック 汐留ミュージアムコレクション ジョルジュ・ルオー展」を皮切りに、夏に「世界の巨匠たちが子どもだったころ」、秋に日本画家・能島和明氏の作品を特別陳列した「ふるさとの風景」、冬には東洋および日本美術のコレクションによる「寄贈 50 周年 長谷川コレクション展」を開催した。このうち、「世界の巨匠たちが子どもだったころ」、「ふるさとの風景」、「寄贈 50 周年 長谷川コレクション展」は、「平成 30 年度文化庁 文化芸術創造拠点形成事業」の助成を受けた「山形県文化芸術交流発信事業」として実施した。さらに山形県民の美術振興を図る 3 県展、収蔵品展事業のテーマ展「吉野石膏コレクション・服部コレクション 響きあうフランス絵画」と「新収蔵品展」と常設展、また美術に関する創作活動を行っている個人・団体に対する 18 の展示施設貸与事業を行った。そのほかキャンパスメンバーズ制度や鑑賞プログラムに継続して取り組んだほか、収蔵品の館外貸出による他機関との協力、大学生の実習受け入れ指導、美術講座などを実施した。

これら公益事業関連の展覧会総入場者数は 72,504 人となった。平成 29 年度 86,669 人と比較すると、企画展事業と収蔵品展事業で 10,055 人の減少、展示施設貸与事業で 4,110 人の減少、合計で 14,165 人の減少となった。

収益事業では、企画展に合わせたミュージアムグッズの取り扱いを実施した。

法人運営および施設管理では、収蔵品管理のため展示室・収蔵庫の温湿度等の維持管理に努めたほか、すでに導入している多言語音声ガイドのほか、新たに英語版リーフレットを作成、外国人を含む来館者の利便性の向上を図った。

1. 公益事業

企画展事業

山形県民はじめ広く美術愛好者に国内外の優れた美術作品および関連資料を鑑賞する機会を提供する以下の事業を行った。

4月5日 5月13日 パナソニック 汐留ミュージアムコレクション ジョルジュ・ルオー展

黒の線描と鮮やかな色彩で独自の絵画世界を描き続けた 20 世紀フランス絵画の巨匠、ジョルジュ・ルオー(1871-1958)を油彩画、版画、122 点によって紹介した。また、山形美術館のコレクションより 4 点のルオー作品も併せて展示した。会期中、4 月 5 日にパナソニック汐留ミュージアム学芸員のオープニング記念トーク、28 日に修復家による記念講演会「アトリエのルオー」、4 月 29 日、5 月 6 日はワークショップ「スタンドグラスを作ろう」、4 月 7、8 日にはヨガ体験「ART MEETS YOGA!」、5 月 4 日は落語「名画で落語?」、さらに担当学芸員のギャラリートークを 4 月 14、21、28 日の午後、5 月 3、4、5、13 日は午前と午後の 2 回それぞれ行うなど、多彩な関連事業を実施。幅広い世代にルオー作品がもつ魅力を伝えた。

7月20日-8月26日 世界の巨匠たちが子どもだったころ

おがき世界子ども美術博物館(愛知県岡崎市)の所蔵品から、世界を代表する巨匠たちが子どもだった頃に描いた作品を厳選して紹介した。モネ、ムンク、ピカソら海外の作家から、岸田劉生、青木繁、三輪晁勢、平山郁夫、中島千波、田中一光、横尾忠則ら日本の作家まで、85 作家による油彩画、日本画、デッサンなど 124 点で構成。また出品作家が巨匠となった時代の作品を山形美術館収蔵品から 7 点を併せて展示した。会期中は、7 月 20 日のオープニングトーク、8 月 4 日、8 月 12 日の造形ワークショップとともに、毎週金曜日に担当学芸員によるギャラリートークを開催した。また、おがき世界子ども美術博物館が行なっている鑑賞と創作活動を一体化した参加型ミュージアムの活動を踏まえ、本展でも展示室の一角に造形体験コーナーを設け、来館者が自由な発想や創造力を豊かにする機会とした。当館では土曜日を教育目的で中学生以

下無料としているが、本展では会期を通して中学生以下の入館料を無料にした。

9月1日-9月17日 第73回山形県総合美術展

山形県の美術振興と美術家のレベル向上を目指して毎年開催している県内最大の公募展。日本画、洋画、彫刻、工芸の4部門に搬入された588点を、能島和明(日本画)、佐藤泰生(洋画)、三木俊治(彫刻)、野口裕史(工芸)の4氏が厳正に審査。会場には、入賞・入選、審査員、委嘱、無鑑査の作品、東北芸術工科大学教員の招待作品、合わせて463点を展示した。日本画および洋画部門には高校生や大学生の入選・入賞が見られた。60回記念となるこども県展には、県内の園児、小中生から13,880点の応募があった。日本体育大学教授の奥村高明氏が、それぞれの発達段階に応じた子どもたちの見方、考え方がよく表れている点を基準に審査し、入賞・入選836点を展示。また60回記念として60回記念展賞を設けるとともに、会期中奥村氏によるギャラリートークを開催した。

9月22日-9月30日 第43回山形県総合書道展

山形県内および出身者の書家、書道愛好家から広く作品を公募し開催した。今回は、漢字・かな・調和体・近代詩文・少字数・刻字・篆刻の7部門に、高校生から90代までの幅広い年代の書家・書道家から、一般公募242点、役員・会友335点を合わせ577点の作品が搬入された。県内の書家・鈴木千岳、青柳祥雲、大越松峰、植松龍祥、高橋嶽崖、岩城光伸、阿部旭祥、渡邊大洲、遠藤浩鳳、渡部飛雲の10氏による審査の結果、県知事賞など入賞13点、奨励賞15点、褒状30点、入選167点が厳正に選抜された。会場には入賞・入選作に審査員、役員、会友の書作を加え513点を展示。9月23日には植松龍祥氏による作品解説会を実施し、若年層や書道初心者らに書道の魅力や作品の良さを知ってもらう機会とした。

10月12日-10月28日 ふるさとの風景

当館の収蔵品から、日本画、油彩画、水彩画などジャンルを問わず、山形県にちなんだ風景作品を厳選して展示し、制作者独自の感性で描かれた「ふるさと」の姿を紹介した。加えて、日本画家・能島和明氏が描く、庄内地方に伝わる伝統芸能「黒川能」を題材としたシリーズや、みちのくの風土・民俗をテーマとした作品16点を特別展示。合計66点の作品を展示した。会期中、能島氏によるオープニングトークや、10月20日に山形交響楽団のデュオによるギャラリートーク、毎週日曜日に担当学芸員によるギャラリートーク(12日と28日は、能島氏との対談形式)を開催、多様な角度から山形美術館の収蔵品の魅力をアピールする機会とした。

12月6日-31年1月27日 寄贈50周年 長谷川コレクション展

1968年に山形銀行の長谷川吉郎会長より同家歴代が収集した美術品が寄贈され、2018年で50年となるのを記念して開催した。重要文化財の与謝蕪村「奥の細道図屏風」と11点の県指定有形文化財を含む江戸から明治にかけての狩野派、文人画、円山四条派の絵画・工芸・書の76点に加え、④長谷川家と山寺芭蕉記念館からも借用し、合計107点を展示。併せて、2019年に寄贈25年となる⑥長谷川家の美術品22点を、別館にて特別展示した。会期中、12月6日の開幕にあわせて監修者の村田隆志氏によるギャラリートーク、12月8日は④長谷川家当主の長谷川吉茂氏による記念講演会を開催し、多くの参加者があった。さらに12月15日の造形ワークショップ「卓上切り絵アートを作ろう」、1月12日の監修者による講演会など多彩な催しを開催。1月の毎週金曜日には担当学芸員によるギャラリートークも行き、幅広い年代の来館者に日本美術の魅力をPRした。また、同コレクションの名品50点を厳選した図録を刊行した。

2月21日-3月24日 第53回山形県写真展

山形県写真展は、県内の写真愛好家の質的向上と相互交流を目的に1967年に第1回展を開催し、今年で53回を迎えた。本展には、16歳から90歳までの539名から2,347点の一般公募作品が搬入。写真家の三好和義氏による2日間にわたる公開審査によって、入賞11点、準入賞10点、努力賞10点、入選476点が選ばれた。会場には公募作品に加え、審査員と無鑑査作品など、計527点を展示。山形の四季折々の豊かな自然を切り取った風景写真や、歴史や地域性に溢れる祭事などを中心に多彩な写真が並んだ。

収蔵品展事業

山形美術館では、日本の美術、山形県関係の美術、フランス近代美術の3分野について、美術作品および関連資料の収集と調査研究を進めている。これら収蔵品の一部を常設展示しているほか、30年度には以下のテーマ展を開催し収蔵品を紹介した。

6月5日-6月24日 吉野石膏コレクション・服部コレクション 響きあうフランス絵画

1991年以降、吉野石膏株式会社と吉野石膏美術振興財団より当館に寄託されている、印象派を中心とした19-20世紀フランス絵画の吉野石膏コレクションと、1985年のリニューアルを機に収集した20世紀フランス絵画の服部コレクションは当館のフランス美術部門の核となっている。これら2つのコレクションから123点を一堂に会し、19世紀半ばから20世紀後半までのフランス絵画の流れを紹介した。さらに、吉野石膏コレクションの新寄託品、平山郁夫《絲綢之路天空》(1982年、再興第67回院展出品作)を当館で初公開した。

11月7日-11月18日 新収蔵品展

2015年度から2018年度にかけて新たに寄贈・寄託を受けた作品を展示。日本画・洋画・彫刻・書・写真合計60点の作品を通して、山形美術館の新収蔵品を紹介した。

展示施設貸与事業

美術に関する創作活動を行っている個人および団体に対し、当館の展示室と展示用備品を貸与する事業を行った。30年度は、龍生派山形県支部創立65周年記念いけ花展、県水彩画展、春光会展、日展山形会展、創琢書道展、山形県民ふれあい書道展、櫻墨書院展、示現会山形展、毎日書道展東北山形展、読売書法展東北展、北展、山形市芸文協総合展、墨華会書道展、MOA美術館山形県児童作品展、東邦書道会全国展、誠筆会、山形デザイン専門学校卒業進級制作展、山形県健康福祉祭美術展など、18の展覧会を開催した。

その他

収蔵品を活用した事業や指導など以下の事業を行った。

1. 山形美術館キャンパスメンバーズ制度の実施

学校教育等における当館の有効活用を目的に、一昨年度より設けた「山形美術館キャンパスメンバーズ制度」を本年度は14校が利用。常設・企画展の常時入館無料のほか、授業での解説指導等を実施した。

2. 「YAMA コレ5 やまがた冬の4美術館めぐり」への参加

昨年度から山寺後藤美術館、天童市美術館、広重美術館による実行委員会を組織し、「YAMA コレ5 やまがた冬の4美術館めぐり」を実施。常設展示作品を対象に音声ペンを使った多言語音声ガイド(英・中・日)の導入とともに、全館を回った方への記念品を用意し、各美術館の魅力の向上と県内外の美術愛好家の周遊を連携して促す取り組みとした。

3. 収蔵品館外貸出による他機関への協力

「人間・高山辰雄展」(世田谷美術館、大分県立美術館)、「モネ それからの100年」(名古屋市美術館、横浜美術館)、「浦上コレクション 北斎漫画:驚異の目、驚異の筆」(うらわ美術館)、「江戸の天才絵師 葛飾北斎~北斎漫画と富嶽百景」(浦添市美術館)、「山形ビエンナーレ2018」(東北芸術工科大学)、「オルセー美術館特別企画 ピエール・ポナール展」(国立新美術館)、「横山華山展」(東京ステーションギャラリー)、「生誕130年 佐藤玄々(朝山)展」(福島県立美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、[株]三越伊勢丹)、「市政60周年・開館35周年記念特別展 山形美術館の名品と荻須が見たパリ画壇」(稲沢市立荻須記念美術館)、「山寺と紅花III 文化の伝承」(山寺芭蕉記念館)など、他機関の企画展に対し収蔵品の貸出協力を行った。

4. 山形美術館鑑賞プログラムの実施

子どもたちが地域の文化に興味を持ち、実際に体験・参加する取り組みにより、地域への愛着と誇りの醸成を図ることを目的とする山形美術館鑑賞プログラムを継続して実施。10月12日に中山町立長崎小学校・豊田小学校の6年生、1月30日山形市立第九中学校、1月31日山形大学附属小学校6年生を対象に、当館収蔵品や企画展を活用した対話型鑑賞プログラムを行い、主体的な学びを養う機会とした。

5. 美術教育普及活動への協力

8月12日に東北芸術工科大学芸術学部総合美術コースの松村泰三研究室とキッズ・アーティスト・プロジェクト「鏡の国の花火大会」を実施。また山形青年会議所OBの山形ビューティフルコミッションによる「児童絵画鑑賞プログラム」を2月15日に実施、幼児を対象に美術鑑賞のマナーと絵の見方を体験した。また、来館の児童生徒団体で希望がある場合、適宜館の概要や作品の解説を行った。

6. 博物館実習生および文化コーディネート実習生の受け入れと指導

博物館実習は、本年度東北芸術工科大学4名、筑波大学1名、計5名をのべ6日間ずつ受け入れ、美術館の機能と業務概要、資料の保存管理、地域における美術館のあり方などについて指導した。また山形大学大学院地域教育文化研究科の必修科目である文化コーディネート実習においては、1名を延べ10日間受け入れ、教育普及ワークショップ等の企画運営を通じ、文化振興の実践的な理解とコーディネーター・ファシリテーターとしての資質向上を図る指導を行った。

7. 美術講座の開催

作品に込められた意味や時代背景などを知り、美術を親しむ機会として美術講座を開催した。一昨年度、昨年度に続いて元木幸一氏(美術史家・山形大学名誉教授)を講師に、「ドイツの美術を旅する ドナウとラインと教会と」をテーマに10月14、21、28、11月11、22日の計5回実施、80名が受講した。

8. 吉野石膏コレクションの調査

吉野石膏コレクション作品に対する状態調査及び額の改良を森絵画保存修復工房と共同で6月と2月にかけて実施した。作品の安全と来館者のより良い鑑賞の実現に努めた。

収蔵品展事業による、本年度新収蔵品は寄贈86件である。羽咋応明の日本画、前田春治の油彩画、飛塚英寿の写真などを受贈した。また、平山郁夫、能島和明の作品2件の寄託を受けた。今期末での寄託品を除く収蔵品件数は、基本財産収蔵品の一般正味財産(購入)505件、指定正味財産(寄贈)1,136件、合計1,641件となった。

2. 収益事業

山形城址が眺められる休憩室に有料の飲料自動販売機を設置し、作品鑑賞後に気軽に利用できる空間とした。また美術関係の書籍やグッズを販売するコーナーでは、展覧会図録や関連するグッズなどの販売物を引き続いて取り扱った。

3. 法人運営および施設管理

収蔵品や企画展開催中の作品管理のため温湿度の維持管理のほか、正面玄関前の石畳改修など、施設、備品の維持管理に努めた。

4. 成果と課題

平成30年度は、20世紀フランス絵画の巨匠・ジョルジュ・ルオーの絵画展や、「山形県文化芸術交流発信事業」となる夏の作品鑑賞と造形体験を組み合わせた夏の企画と、秋の「ふるさとの風景」、そして当館の収蔵品の中心である「寄贈50周年記念長谷川コレクション展」、さらに恒例の県内の美術愛好家を対象とする3県展、収蔵品のフランス絵画を活用した自主企画などの企画展事業を、収蔵品展事業もあわせ公益事業を予定通り実施した。

夏の企画は、これまでの鑑賞学習への取り組みを反映させた内容とし、夏休み中の子供や保護者を中心に幅広い観覧者を対象としたが、想定したような広がりには欠け、当初予定の入場者を大きく下回る結果となった。これに伴い事業収入が見込みより大幅減となり、基本財産の一部処分を行うこととなった。企画展については、美術専門のものだけでなく、より多くの方々に喜んでいただける内容の選定に努めるとともに、これまで以上に事前の収支を厳しく精査していく。

冬の企画展である寄贈50周年記念長谷川コレクション展は、多くの県民が同コレクションの素晴らしさを再認識する絶好の機会となった。今後も同コレクションをはじめとする収蔵品の紹介を積極的に図っていく。

また本年「YAMAコレ5 やまがた冬の4美術館めぐり」による他館との連携や、ホームページでの企画展やイベントなどの情報更新、テレビ番組での紹介により、広域からの観光客の取り組みに努めた。

今後も優れた芸術に触れる場所、県民の創造活動の場として、地域のニーズを把握し、企画展の実施と企画内容・対象者に応じた多様な教育普及事業を実施する。また地域機関との連携を図るとともに、効果的な広報活動に努め、地域に親しまれる美術館活動を推進していく。さらにホームページなどを通じた山形美術館の魅力の積極的な発信などにより、国内外からの来館を促進する。

平成30年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

[企画展]

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
パナソニック 汐留ミュージアムコレクション ジョルジュ・ルオー展	4月5日～5月13日	7,665	472	314	2,473	10,924	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市、県教委、山形市、市教委、県芸術文化協会、市芸術文化協会、パナソニック 汐留ミュージアム、ホワイトインターナショナル	4月5日パナソニック汐留ミュージアム学芸員のギャラリートーク、7、8日ヨガ体験、28日修復家による記念講演会、29日、5月6日にステンドグラスのワークショップ、5月4日は落語会。4月14、21、28日、5月3、4、5、13日に担当学芸員によるギャラリートーク。
吉野石膏コレクション・服部コレクション 響きあうフランス絵画	6月5日～6月24日	1,010	58	161	448	1,677	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市、吉野石膏株式会社、吉野石膏美術振興財団	印象派を中心とした19～20世紀フランス絵画の吉野石膏コレクションと、20世紀フランス絵画の服部コレクション、約120点を紹介。
世界の巨匠たちが子どもだったころ	7月20日～8月26日	2,428	265	409	1,090	4,192	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市、山形県民共済生活協同組合、おかざき世界子ども美術博物館、株式会社アートワン	7月20日のオープニングトーク、8月4日、8月12日の造形ワークショップ、毎週金曜日に担当学芸員によるギャラリートークを開催。会場の一角に造形体験コーナーを設け、来館者が自由な発想や創造力を豊かにする場を設けた。
第73回山形県総合美術展	9月1日～9月17日	3,870	145	553	2,452	7,020	山美、山新、山放、県美術連盟、山形県、県生涯学習文化財団、市教委、県芸術文化協会、県造形教育連盟、べんてる株式会社	能島和明(日本画)、佐藤泰生(洋画)、三木俊浩(彫刻)、野口裕史(工芸)の4氏による審査。第60回記念こども県展を併催。
第43回山形県総合書道展	9月22日～9月30日	367	30	24	1,166	1,587	山美、山新、山放、山形県総合書道会、山形県、県生涯学習文化財団、市教委、山形市、市教委、山形県書道連盟、県芸術文化協会	鈴木千岳、青柳祥雲、大越松峰、植松龍祥、高橋欽崖、岩城光伸、阿部旭祥、渡邊大洲、遠藤浩鳳、渡部飛雲ら10氏による審査、9月23日植松龍祥氏ギャラリートーク、9月31日授賞式。
ふるさとの風景	10月12日～10月28日	1,133	311	110	774	2,328	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市	10月12日能島氏によるオープニングトーク、10月20日山形交響楽団のデュオによるギャラリートーク、毎週日曜日に担当学芸員によるギャラリートークを開催。
寄贈50周年 長谷川コレクション展	12月6日～1月27日	3,172	464	52	2,092	5,780	山美、山新、山放、山形県、県生涯学習文化財団、山形市	12月6日オープニング記念の監修者の村田隆志氏によるギャラリートーク、12月8日(山)長谷川家現当主の長谷川吉茂氏による記念講演会、12月15日造形ワークショップ「卓上切り絵アートを作ろう」、1月12日監修者の村田氏による講演会、1月の毎週金曜日には担当学芸員によるギャラリートークを開催。
第53回山形県写真真展	2月21日～3月24日	2,684	130	55	3,048	5,917	山美、山新、山放、山形県写真連盟、山形県、県生涯学習文化財団、県教委、山形市、市教委、県写真材料商組合	2月9、10日写真家・三好和義氏による公開審査、3月24日授賞式。
企画展 計(A)		22,329	1,875	1,678	13,543	39,425		

平成30年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

[収蔵品展など]

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
収蔵品展 新収蔵品展	11月7日～ 11月18日	442	173	23	319	957	山美、山新、山放、山形市	2015年度から2018年度にかけて新たに寄贈・寄託を受けた作品、合計60点を展示。

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
常設展示のみ ・巨匠の広場 ・吉野石膏コレクション室 ・新海竹太郎/竹藏彫刻室 ・長谷川コレクション室 ・彫刻の小部屋	5月16日～ 5月17日	28	2	-	13	43		
	5月17日～ 5月28日	1,283	71	-	655	2,009		日展山形会展
	5月29日～ 6月3日	128	18	-	35	181		
	6月28日～ 7月1日	543	12	41	487	1,083		県民ふれあい書道展
	7月4日～ 7月8日	103	8	7	29	147		
	7月11日～ 7月15日	235	10	5	553	803		示現会山形展
	7月16日	48	-	1	1	50		
	10月3日～ 10月7日	229	9	40	1,627	1,905		毎日書道展
	10月8日	50	2	1	2	55		
	10月31日～ 11月4日	255	24	27	1,234	1,540		読売書法展
	11月4日	3	-	-	-	3		
	11月20日～ 12月2日	775	118	19	27	939		
	1月30日～ 2月17日	420	26	43	133	622		
3月28日～ 3月31日	151	5	6	22	184			
収蔵品展計(B)		4,693	478	213	5,137	10,521		

館主催展計(C=A+B)		27,022	2,353	1,891	18,680	49,946		
--------------	--	--------	-------	-------	--------	--------	--	--

[展示施設貸与事業など]

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
龍生派山形県支部65周年 記念いけばな展	4月14日～ 4月15日	1,741	-	-	-	1,741	龍生派山形県支部	
春光会展	5月16日～ 5月20日	821	-	-	-	821	春光会	

平成30年度 開催展覧会と入場者数

山形美術館

事業名	期間	入場者数					主催、共催、後援など	備考
		一般	高・大生	小・中生	会員・招待	計		
山形県水彩画会展	5月16日～ 5月20日	854	-	-	-	854	山形県水彩画会	
日展山形会展	5月18日～ 5月27日	1,283	71	-	655	2,009	日展山形会、山形新聞・山形放送	
創琢書道展	5月31日～ 6月3日	572	-	-	-	572	創琢書道会	
山形県民書道展 ふれあい書道展	6月28日～ 7月1日	543	12	41	487	1,083	山形県民書道会	
樺墨書院展	7月4日～ 7月8日	1,128	-	-	-	1,128	樺墨書院	
示現会山形展	7月11日～ 7月15日	235	10	5	553	803	示現会、示現会山形支部	
毎日書道展 東北山形展	10月3日～ 10月7日	229	9	40	1,627	1,905	毎日新聞社、毎日書道会	
読売書法展東北展	10月31日～ 11月4日	255	24	27	1,234	1,540	読売新聞社、読売書法会	
北展(会員・会友)	11月7日～ 11月11日	230	121	17	544	912	東北現代美術協会	
山形市芸文協会 総合展覧会	11月14日～ 11月18日	3,208	-	-	-	3,208	山形市、市教委、市芸術文化協会	
墨華会書道展	11月23日～ 11月25日	1,703	-	-	-	1,703	墨華会	
MOA美術館 山形県児童作品展	11月23日～ 11月24日	669	-	-	-	669	MOA美術館山形県児童作品展実行委員会	
東邦書道会全国展	11月30日～ 12月2日	743	-	-	-	743	東邦書道会	
誠筆書展	1月31日～ 2月3日	877	-	-	-	877	誠筆会	
山形デザイン専門学校 卒業進級制作展	2月13日～ 2月17日	891	-	-	-	891	山形デザイン専門学校	
山形県健康福祉祭 美術展	2月14日～ 2月17日	1,099	-	-	-	1,099	山形県、山形県社会福祉協議会、山形県老人クラブ連合会	
展示施設貸与事業計(D)		17,081	247	130	5,100	22,558		
全 展 計 (E=C+D)		44,103	2,600	2,021	23,780	72,504		

平成 30 年度新収蔵品リスト

平成 31 年 3 月 31 日現在

寄贈

作 者 名	作 品 名	制作年	材 質 ・ 技 法	寸法(cm)
羽 咋 応 明	鷹 之 図		紙 本 ・ 着 色	55.4×82.2
羽 咋 応 明	王 昭 君		紙 本 ・ 着 色	115.7×55.2
羽 咋 応 明	人 物 獅 子 図		紙 本 ・ 淡 彩	134.1×62.9
羽 咋 応 明	山 水 図		紙 本 ・ 着 色 (対 幅)	各 135.6×61.8
羽 咋 応 明	雛 人 形 図		紙 本 ・ 着 色	43.5×70.0
高 嶋 祥 光	シ シ 踊 り	1965 頃	紙 本 ・ 着 色	88.2×91.0
朝 一 圭 鳳	夕 暮 筏 流	1960 頃	絹 本 ・ 着 色	107.7×35.8
朝 一 圭 鳳	琉 球 風 景	1961	絹 本 ・ 着 色	23.1×95.4
荒 井 篁 一 郎	牡 丹 と 猫	1922	絹 本 ・ 着 色	115.0×41.0
荒 井 篁 一 郎	河 蟹 之 図	1925	絹 本 ・ 着 色	41.8×41.9
雪 逢	花 鳥 図		紙 本 ・ 着 色	124.4×49.8
能 島 和 明	黒 川 能 (杜 若)	2011	紙 本 ・ 着 色	226.7×175.0
能 島 和 明	道 成 寺	2013	紙 本 ・ 着 色	227.0×158.5
平 岡 権 八 郎	イ タ リ ー の 女	1940	キャンヴァス・油彩	80.5×65.5
前 田 春 治	地 上	1963	キャンバス・油彩	72.5×90.5

前田春治	K a s a	1974	キャンバス・油彩	116.7×90.9
前田春治	B a c h i	1974	キャンバス・油彩	116.7×90.9
前田春治	蔵王熊野岳とお釜	1975	キャンバス・油彩	91.0×117.0
前田春治	ろばの耳・五色岳	1980	パステル・紙	72.5×90.5
前田春治	立雲月山	1986	キャンバス・油彩	73.0×91.0
前田春治	空11(カッパドキア)	1987	キャンバス・油彩	130.5×162.2
前田春治	蔵王山麓瀧山	1989	パステル・紙	41.0×53.0
飛塚英寿	坑 夫	1973	ゼラチンシルバー プリント・パネル	69.0×60.0
飛塚英寿	雪 の 峠	1974	ゼラチンシルバー プリント・パネル	69.2×48.9
飛塚英寿	ポ ー ト レ ー ト	1976	カラープリント・額	53.3×35.8 (59.5×42.0)
飛塚英寿	窓 (2 枚 組)	1977	カラープリント・ パ ネ ル	32.0×45.1
飛塚英寿	窓 (2 枚 組)	1977	カラープリント・ パ ネ ル	31.0×45.1
飛塚英寿	母校の印象(2枚組)	1978	カラープリント・ パ ネ ル	28.5×46.0
飛塚英寿	高 原 暮 色	1979	カラープリント・ パ ネ ル	60.0×41.3
飛塚英寿	店	1980	カラープリント・ パ ネ ル	41.6×60.1
飛塚英寿	店	1980	カラープリント・ パ ネ ル	59.0×88.8
飛塚英寿	白 い 鳥	1981	カラープリント・ パ ネ ル	47.1×60.0
飛塚英寿	家 路	1982	カラープリント・ パ ネ ル	40.3×60.2

飛塚英寿	花 摘 み	1983	カラープリント・ パネ ル	60.1×50.2
飛塚英寿	面	1984	カラープリント・ パネ ル	60.0×42.9
飛塚英寿	雲 湧 く	1985	カラープリント・ パネ ル	39.6×60.2
飛塚英寿	閑 日	1986	カラープリント・ パネ ル	39.1×60.2
飛塚英寿	雪 の 市	1987	カラープリント・ パネ ル	39.6×60.2
飛塚英寿	春 ら ん ま ん	1988	カラープリント・ パネ ル	40.3×60.1
飛塚英寿	オ オ ヤ マ ザ ク ラ	1989	カラープリント・ パネ ル	40.3×60.1
飛塚英寿	飛 翔	1990	カラープリント・ パネ ル	37.0×60.2
飛塚英寿	樹 氷 幻 想	1991	カラープリント・ パネ ル	40.5×60.1
飛塚英寿	冬 路	1992	カラープリント・ パネ ル	60.1×48.0
飛塚英寿	光 る 道	1993	カラープリント・ パネ ル	60.1×46.5
飛塚英寿	凍 て つ く	1994	カラープリント・ パネ ル	60.1×40.8
飛塚英寿	樹 氷 夕 照	1995	カラープリント・ パネ ル	47.8×33.3
飛塚英寿	秋 桜 幻 想	1996	カラープリント・ パネ ル	39.5×60.1
飛塚英寿	冬 路 光 る	1997	カラープリント・ パネ ル	60.1×39.4
飛塚英寿	冬 ざ れ の 道	1998	カラープリント・ パネ ル	60.1×45.5
飛塚英寿	モ ン ス タ ー	1999	カラープリント・ パネ ル	39.0×60.1
飛塚英寿	飛 驒 雨 日	2000	カラープリント・ パネ ル	39.8×60.2

飛塚英寿	湖上乱舞	2001	カラープリント・ パネル	41.8×60.1
飛塚英寿	お釜黎明	2002	カラープリント・ パネル	39.2×60.2
飛塚英寿	夕映えに咲く	2003	カラープリント・ パネル	40.4×60.1
飛塚英寿	早春の湖	2004	カラープリント・ パネル	40.8×60.1
飛塚英寿	吹禅一如	2005	カラープリント・ パネル	49.8×40.3
飛塚英寿	農に生きる	2006	カラープリント・ パネル	33.4×49.8
飛塚英寿	村が消えた	2007	カラープリント・ パネル	41.4×57.8
飛塚英寿	夕映えに咲く	2008	カラープリント・ パネル	39.2×57.7
飛塚英寿	晴れの門出	2009	カラープリント・ パネル	42.3×57.8
飛塚英寿	樹氷原夕照	2010	カラープリント・ パネル	40.0×60.2
飛塚英寿	秋の彩り	2011	カラープリント・ パネル	31.3×47.7
飛塚英寿	慈光秋彩	2012	カラープリント・ パネル	31.7×47.8
飛塚英寿	紅花染花嫁衣装	2013	カラープリント・ パネル	32.4×47.8
飛塚英寿	秋彩華麗	2014	カラープリント・ パネル	31.7×47.7
飛塚英寿	春粧	2015	カラープリント・ パネル	31.9×47.9
飛塚英寿	光陰悠久	2016	カラープリント・	32.1×48.2
飛塚英寿	ミズバショウの園	2017	カラープリント・ パネル	33.8×48.0
服部不二之	鈴木佐一像	1954	石膏・着色	38.3×19.5× 23.0

藤原高	書		紙本・墨書	150.0×40.0
菅原遯	書		紙本・墨書	110.3×59.5
伝尚信	柳に鳥・柿に鳥		紙本・墨画淡彩	108.9×29.6
清華	月下美人図		絹本・着色	134.9×45.6
春翠	布袋図(華山賛)		絹本・着色	121.0×45.8
高嶋祥光	風景		紙本・着色	36.4×57.5
朝一圭鳳	吉祥山景図	昭和30年代	紙本・着色	27.0×24.0
朝一圭鳳	秋草図	昭和30年代	紙本・着色	27.7×63.2
朝一圭鳳	菊図	昭和30年代	紙本・着色	28.2×68.9
朝一圭鳳	竹図	昭和30年代	紙本・着色	28.4×69.1
朝一圭鳳	松図	昭和30年代	紙本・墨画淡彩	27.9×69.3
朝一圭鳳	牡丹図	昭和30年代	紙本・着色	28.5×69.1
朝一圭鳳	紅梅図	昭和30年代	紙本・着色	28.4×69.1
朝一圭鳳	富士図	1960	紙本・墨画淡彩	28.2×69.1
	端溪之硯			
	神墨			
吾妻兼治郎	Progetto fontana delle tartarughe Relazione e tavole diprogetto(複写)	2000	紙	29.8×42.0

以上の美術品 86 件を基本財産収蔵品(不可欠特定財産)とする

寄託

作者名	作品名	制作年	材質・技法	寸法(cm)
平山郁夫	絲綢之路天空	1982	紙本・着色	169.7×363.6
能島和明	鐘卷	2012	紙本・着色	227.0×159.0

平成 30 年度収蔵品貸出一覧

作 者 名	作 品 名	借 受 館 又 は 借 受 者	貸 出 事 由	貸 出 期 間
高 山 辰 雄	聖 家 族 より7点	世 田 谷 美 術 館 大 分 県 立 美 術 館	人 間 ・ 高 山 辰 雄 展	4/2-9/2
モ ネ	睡 蓮 など3点	名 古 屋 市 美 術 館 横 浜 美 術 館	モネ それからの100年	4/6-10/3
ミ レ ー ピ サ ロ	バ タ ー 作 り の 女 暖 を と る 農 婦	ひ ろ し ま 美 術 館	ねこがいっぱい ねこアート展	4/14-7/5
葛 飾 北 斎	北 斎 漫 画 2 0 1 点	う ら わ 美 術 館	浦上コレクション 北斎漫画： 驚異の目、驚異の筆	4/15-6/19
葛 飾 北 斎	富 嶽 三 十 六 景 5 0 点 富 嶽 百 景 1 0 2 点 計152点	秋 田 県 立 近 代 美 術 館	北 斎 の 富 士 - 富 嶽 三 十 六 景 と 富 嶽 百 景	4/17-6/19
カンディンスキー シャガール	ゆるやかな変奏曲 画家の白い顔	京 都 文 化 博 物 館	オットー・ネーベル展	4/20-7/5
葛 飾 北 斎	北 斎 漫 画 1 2 6 点 富 嶽 百 景 1 0 2 点 計 228点	浦 添 市 美 術 館	江戸の天才絵師 葛飾北斎 ～北斎漫画と富嶽百景～	7/6-9/7
新 海 竹 太 郎	羅 漢 など6点	東 北 芸 術 工 科 大 学	山形ビエンナーレ2018	8/25-9/27
ボ ナ ー ル	靴 を 履 く 若 い 女	国 立 新 美 術 館	オルセー美術館特別企画 ピエール・ボナール展	9/13-12/27
横 山 華 山	紅 花 屏 風	東 京 ス テ ー シ ョ ン ギ ャ ラ リ ー	横 山 華 山 展	9/16-11/15

平成 30 年度収蔵品貸出一覧

作 者 名	作 品 名	借 受 館 又 は 借 受 者	貸 出 事 由	貸 出 期 間
佐藤朝山	嘯 牛 など5点	福島県立美術館 碧南市藤井達吉現代美術館 (株)三越伊勢丹	生誕130年 佐藤玄々(朝山)展	10/16- 2019 3/14
ピカソ	剣 を 持 つ 男 など服部コレクション40点	稲沢市荻須記念美術館	市制60周年開館35周年記念特別展 山形美術館の名品と 荻須が見たパリ画壇	10/18-12/12
富岡鉄斎 岡本秋暉	月 夜 梅 花 図 花 鳥 図	山寺芭蕉記念館	山 寺 と 紅 花 - 文化の伝承 -	11/17- 2019 3/7
	職 人 尽 図 屏 風	山形県立博物館	私 ち の た か ら も の	11/21- 2019 1/23
松平穆堂	水墨山水図・自画賛 竹 石 図	鶴岡アートフォーラム	庄内の美術家たち14 黒崎研堂 松平穆堂 土屋竹雨	2019 1/17- 3/13
有栖川宮熾仁親王 有栖川宮熾仁親王	和 歌 懐 紙 夕 顔 瀟 湘 夜 雨	山寺芭蕉記念館	山 寺 と 紅 花 - 雛 と 雅 -	2019 2/22- 4/19